

坂道発第1138号
平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 殿

埼玉県坂戸市長 伊 利 仁



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼のあった標記の件について別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様 式 ①

埼玉県坂戸市

(1) 道路は国民生活を豊かにし、活力ある社会活動を支える上で最も基本的な社会資本であるため、平成20年5月13日、閣議決定された「道路特定財源等に関する基本方針」に基づき、関係諸施策を強力に推進されたい。

(2) 首都圏では多くの道路で交通渋滞が発生し、多大な経済損失や環境悪化が生じているなど、住民の生活や産業活動に深刻な影響を与えているため、首都圏三環状の早期完成を望む。特に、首都圏中央連絡自動車道は、「目標宣言プロジェクト」の目標年次に沿った開通に向け、強力に事業を推進されたい。

○現状

埼玉県西部を南北に結ぶ主要幹線道路である国道 407 号は、関越自動車道を利用する車両により、鶴ヶ島 IC 周辺が恒常的に混雑している。また、主要地方道新川越坂戸毛呂山線が概ね整備され、交通量が大幅に増加したことから、新川越坂戸毛呂山線から国道 407 号の鶴ヶ島 IC のまでの市街地の区間にかけて、特に渋滞が発生している。

○課題

関越自動車道へのアクセスを分散させ、国道 407 号の慢性的な渋滞を緩和する目的から、関越自動車道の鶴ヶ島 IC と東松山 IC の中間に位置する入西地区にスマート IC を設置するための国等の関係機関との協議が終了し、(仮称)スマート IC 社会実験準備会において、既に、実施計画の承認を得ています。

スマート IC の事業費は、原則として、本線部分については国の負担となり、それ以外の部分については自治体が負担することとなっているが、(仮称)坂戸スマート IC は本線直結型であるため、SA・PA 接続型に比べ、多大な事業費を要します。このため、スマート IC 整備に係る国庫補助制度の早期確立とともに、市の事業費負担が軽減されるよう国の積極的な財政支援を是非ともお願いしたい。

市街地の渋滞緩和、地域住民の交通利便性の向上、及び周辺市町の地域経済の活性化を推進する。

さらに、スマート IC の誘致による交通アクセスの優位性を活かして、スマート IC 周辺に優良企業の誘致を進め、財源の確保と雇用の創出も図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様 式 ④

埼玉県坂戸市

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	スマート IC の設置	スマート IC を設置することにより 関越道・圏央道に直結するという交通アクセスの優位性が生まれる。 その優位性が企業の進出を促し、 生産年齢人口の増加を生み、本市及び 周辺地域の活力の向上が図れる。	